

平成 29 年度 第 1 回 市長と語る車座ミーティング（意見交換概要）

【開催日時】平成 29 年 10 月 16 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時

【開催場所】人権啓発センター 2 階 大会議室

【申込団体】東御市女性団体連絡協議会

【参加者数】21 名（市長、市職員を除く。）

【懇談テーマ】ごみ問題について、特定外来植物について



※議事については、主な内容を抜粋して掲載しております。

個人のプライバシーに関する部分などについては、一部内容を割愛しております。また、意見交換の内容は開催日時点のものであり、現在の状況と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

【概要】

（会長）

循環型社会の中で重要だと考えているごみ問題について、市長の考えをお聞きしたい。

（市長）

私個人の意見ではなく、市としての見解をお話します。虫がわく問題については、基本的には殺虫剤に対応いただきたい。堆肥化した際にも市販程度の殺虫剤であれば問題はなく、生ごみについても可燃ごみについても対応は同じです。

ごみ処理のコストについては、東御市は近隣市町村や民間に比べて高い状況だが、統合クリーンセンターができると、コストを大きく抑えられます。女性団体連絡協議会さんにも協力いただいたことに感謝いたします。

(会員)

各家庭、特に団地やアパートへの意識の広め方について、どのように考えているか。

(市長)

一軒家とアパートとの意識の違い、また外国籍の方等、こういった言葉で伝えるのかについて、課題だと認識しています。

(会員)

ステーションごとに話し合いをしたり、区長達を招集して徹底することを確認したりする場が持てないか。また、バケツや袋をどこかに展示して、多くの方に触れられるようにできないか。コンポストやぼかしについても、今まで頑張ってきた人たちも大事にできるような取組みをお願いしたい。

(市長)

区単位でも呼んで頂ければ、職員が伺います。展示については、参考とさせていただきます。

(会員)

私の区では、今度支区単位で学習する場を設ける予定です。色々な場所で早くに知ってもらおうと考えている。区長の中には無理に生ごみを分ける必要はないという言い方をしている人もいます。区でもう一度確認が必要だと思う。

(会員)

長野県は他県と比べてごみが少ない、その中で東御市も少ないということを知った。これは励みになる。ごみの減量をするコストとして、お金としてどれほど減少するのか。

(市長)

簡単に言うと、旧東部地区で 4,100 トン、旧北御牧地区で 700 トン。そのうち 1,000 トンを減らす目標としているが、1 トンあたりの金額が違ってきている中では正確ではないが、数千万円は減る計算です。

(会員)

区内でも団地のようなところ等、支区によって違う。何回も声をかけて徹底してやっていく必要性を感じたので、力を入れて声をかけていってほしい。

(会員)

私は電動処理機で生ごみを処理しており、当時補助金をいただいた。今も補助金をやっているのか。

(市長)

現在もあります。コンポストは補助率 8 割、上限 3 千円です。電動は半額補助で上限 4

万円となっています。

(会員)

生ごみリサイクル施設の臭いについて脱臭対策等はどうなっているのか。

(市長)

臭いがするところに一番対策を施しています。二重三重に脱臭対策をしており、今回密閉式で機械の中に入れる方式で臭いが出ないようにしています。

(会員)

昔はごみが少なかったが、今は時代が違う。区で集まっても来ない人もいる。何とか対応できないか。

(市長)

ぜひ、女性の皆さんに区長に立候補していただいて、手本を示していただきたい。

(会員)

米ぬかを入れると虫が来ないということがあるが、入れても差し支えないか。

(市長)

基本的に口に入れるものについては大丈夫です。

(会員)

最後に、外来植物に関して、市長の考えをお聞きしたい。場所によってだとは思いますが、ひどい状況が散見されている。

(市長)

アレチウリに関して言わせていただくと、種がその年に発芽したり、冬を越えたりと様々で、一粒でとてつもない数が増えてしまいます。そのため、若いうちから芽を摘む必要があり、旧東部地区と旧北御牧地区とで若い芽を確認し、摘むことを実践しています。